

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2002-258057(P2002-258057A)
 【公開日】平成14年9月11日(2002.9.11)
 【出願番号】特願2001-52985(P2001-52985)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/00 3 3 1

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A

F 2 1 V 8/00 6 0 1 E

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月15日(2008.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】面光源装置および面光源装置用導光体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも一つの側端面を光入射面とし、対向する 2 つの主面の一方を光出射面とし、該光出射面およびその裏面の少なくとも一方の主面の光入射面側に位置する少なくとも一方の角部近傍に平均傾斜角が他の部分よりも大きい第 1 の領域が形成されており、前記第 1 の領域の平均傾斜角度が $3 \sim 20^\circ$ であり、前記第 1 の領域の平均傾斜角 θ_{aA} と前記他の部分の平均傾斜角 θ_{aB} の比 $(\theta_{aA} / \theta_{aB})$ が $1.2 \sim 2.0$ であることを特徴とする面光源装置用導光体。

【請求項 2】 前記第 1 の領域の光入射面側の端縁方向の幅 (X) と光入射面と略直交する側面側端縁方向の幅 (Y) との比 (Y / X) が $0.6 \sim 1.0$ であることを特徴とする請求項 1 記載の面光源装置用導光体。

【請求項 3】 光出射面およびその裏面の少なくとも一方の主面の光入射面近傍に平均傾斜角が前記他の部分よりも大きい第 2 の領域が形成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 2 のいずれかに記載の面光源装置用導光体。

【請求項 4】 前記第 2 の領域が、光入射面端縁から光入射面の厚さの $3 \sim 8$ 倍の幅を有する帯状の領域であることを特徴とする請求項 3 記載の面光源装置用導光体。

【請求項 5】 前記第 2 の領域の平均傾斜角が $0.5 \sim 18^\circ$ であることを特徴とする請求項 3 ～ 4 のいずれかに記載の面光源装置用導光体。

【請求項 6】 前記第 2 の領域の平均傾斜角 θ_{aC} と前記他の部分の平均傾斜角 θ_a

Bの比 ($\theta a C / \theta a B$) が1より大きく4以下であることを特徴とする請求項3～4のいずれかに記載の面光源装置用導光体。

【請求項7】 前記他の部分の平均傾斜角が略均一であることを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の面光源装置用導光体。

【請求項8】 請求項1～7に記載の導光体の光入射面に対向して光源が配置されている面光源装置において、導光体の光入射面の長さよりも光源の有効発光領域の長さが短いことを特徴とする面光源装置。

【請求項9】 前記導光体の光出射面に光変角シートが載置されていることを特徴とする請求項8に記載の面光源装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明の面光源装置用導光体は、少なくとも一つの側端面を光入射面とし、対向する2つの主面の一方を光出射面とし、該光出射面およびその裏面の少なくとも一方の主面の光入射面側に位置する少なくとも一方の角部近傍に平均傾斜角が他の部分よりも大きい第1の領域が形成されており、前記第1の領域の平均傾斜角度が3～20°であり、前記第1の領域の平均傾斜角 $\theta a A$ と前記他の部分の平均傾斜角 $\theta a B$ の比 ($\theta a A / \theta a B$) が1.2～2.0であることを特徴とする。また、本発明の面光源装置は、上記のような導光体の光入射面に対向して光源が配置されている面光源装置において、導光体の光入射面よりも光源の有効発光領域が短いことを特徴とするものである。さらに、本発明の面光源装置用導光体の製造方法は、導光体の対向する2つの主面の少なくとも一方の主面に相当する金型の全面を粗面化した後、対向する2つの主面の少なくとも一方の主面に相当する金型の光入射面の側端面側に位置する少なくとも一方の角部近傍に相当する部分を除いた領域を遮蔽部材で覆った状態で該角部近傍に相当する部分を粗面化した金型を用いて透光性板状体を成形することを特徴とするものである。